

日拝塚古墳展

日拝塚古墳は、6世紀中ごろ（古墳時代後期）に造られた市内最大の前方後円墳です。昭和51年2月に国の史跡とされました。このたび、47年ぶりに日拝塚古墳出土の豪華な副葬品が東京国立博物館から里帰り。奴国の丘歴史資料館で、2カ月間限定で展示します。

申込・問い合わせ先
奴国の丘歴史資料館
☎(501)1144
☎(573)1077
ID1017838



▲日拝塚古墳全景

2カ月間限定

特別企画展

日拝塚古墳展

入場無料

期間 9月5日(土)～11月8日(日)(9月15日(火)、10月20日(火)は休館)
場所 奴国の丘歴史資料館特別展示室
開館時間 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

関連イベント①

普段は入れない石室内を探検
(申込不要)

日時 10月3日(土)
午前10時～午後3時
場所 日拝塚古墳
(下白水南6-208)
ID1017201



▲日拝塚石室

一足先に石室内を
3D動画で見てみよう



関連イベント②

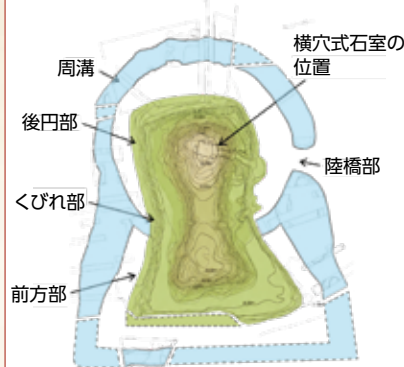
副葬品から見える古墳の被葬者像

日時 10月11日(日) 午後2時～4時
場所 奴国の丘歴史資料館研修室
講師 河野正訓さん(東京国立博物館
主任研究員)
定員 50人(申込先着順)
申込方法 9月5日(土)以降に市ウェブサイトから申し込むか、窓口、電話、ファクス、Eメールのいずれかで氏名、年齢、電話番号を伝える
ID1017839



▲河野さん

日拝塚古墳プロフィール



所在地 下白水南6-208
時期 6世紀中ごろ
かたち 前方後円墳
主体部 横穴式石室
大きさ 高さ4.4～5.5m
長さ57m
※周溝を含めると62m
副葬品 装身具、武器類、馬具類、土器類など

47年ぶり

東京から里帰りする日拝塚古墳の宝たち



▲手のひらサイズの巨大な鈴

▲豪華なガラスのネックレス

▲大刀の柄飾り

何の動物…?

走っているのは…?

▲不思議な形の須恵器

▲朝鮮半島で作られた垂飾付耳飾

※東京国立博物館 研究情報アーカイブズ掲載画像を一部加工

日拝塚古墳に関する出来事

- 昭和4年(1929)** 夜半に盗掘を受けるが、すぐ犯人は捕まり、盗まれた副葬品は東京国立博物館へ
- 昭和51年(1976)** 古墳が国の指定史跡になる
- 昭和54年(1979)** 春日市で里帰り展が行われる
- 平成17年(2005)** 福岡西方沖地震で古墳が被災
- 平成18年(2006)** 災害復旧工事が完了
- 令和8年(2026)** ・史跡指定50周年
・47年ぶりの里帰り展開催

●造られたのはどんな時代?

中国大陸や朝鮮半島の戦乱が日本に強い影響を与え、国内ではヤマト政権が九州への支配を強める激動の時期でした。6世紀前半にヤマト政権は、古墳時代最大の内戦と

6世紀中ごろに福岡平野で造られた前方後円墳です。その規模は当時、福岡平野最大の東光寺剣塚古墳(福岡市)に次ぐ大きさを誇り、この地域で、二を争う権力を持っていた首長(地域の有力者)の墓だと考えられています。

●どんな古墳?

今回の特別企画展は、貴重な国史跡「日拝塚古墳」をこれまでの調査成果とともに分かりやすく紹介します。

里帰りでもとく、春日市の誇り「日拝塚古墳」の謎

●豪華な副葬品

金製の「垂飾付耳飾」などの美しい装飾品をはじめ、ヤマト政権から贈られたとされる大刀の飾り「単鳳環頭柄頭」、馬具、祭祀用の土器などがあります。どれも当時の非常に高い工芸技術で作られた、歴史的・美術的価値が極めて高いものばかりです。

●副葬品の過去と現在

日拝塚古墳は、昭和4年に盗掘されます。その際に出土した副葬品の大半は、現在東京国立博物館で大切に保管・展示されています。

なる筑紫君磐井の乱を経て福岡平野に軍事・外交の拠点となる「那津官家」を置きます。日拝塚古墳の被葬者は、この那津官家との関係が注目される東光寺剣塚古墳の首長に次ぐ、非常に重要な人物だったようです。